



みくにだより

「ハロウィンのカレンダー」

園長 細井 典子

もうすぐハロウィンの日が近づいてきます。教室には10月のカレンダーがあって、そこにオレンジ色のカボチャとうす紫の魔女の折り紙が貼ってあるんです。

年中のあやちゃんは、ママと約束したハロウィンパーティーを楽しみにしています。早く来ないかなあハロウィン!だから、このカレンダー絶対に今日完成させようと張り切っています。「出来る。出来るよ。これ、簡単なよね」あやちゃんは一回だけカボチャの折り方を先生に教えてもらったから、もう一人で折れるようになりました。だから得意の折り紙カボチャ!!そして、うす紫の魔女はこわい顔ではなくて、少しだけ笑っている優しい魔女。特に『目』がうまく描けて自分でも大のお気に入りです。

「できた、できたよ!」あやちゃんはカボチャと魔女をのりで貼ったところで「さて?」と考えました。カレンダーに1・2・3・4...と数字を書こうと思ったのです。いつもの場所には先生の10月のカレンダーはありません。「どこかしら?」とさがしていると年少のえみちゃんがカレンダーを作っています。

でも数字は書けないので○や✕や∂やM...。「えみちゃんカレンダー貸してくれない?」「今使っているの」「だって、もう終わりでしょ。もういいじゃない」あやちゃんは無理矢理持っていこうとしました。

「や・め・て!」えみちゃんも必死です。カレンダーを握って離しません。「だってわたしがやっていたのに!」あやちゃんとえみちゃんは先生のカレンダーを右と左にすごい力で引っ張り合いました。

「あーっ!」ビリビリビリビリー!カレンダーはくしゃくしゃになって半分に切れてしまいました。えみちゃんはウェーンウェーンと泣いています。あやちゃんは「やめてって言ったでしょ。使っていないのに、貸してって言ったのに、えみちゃんが貸してくれないから。だから切れちゃったんだからー」あやちゃんも泣き声で叫んでいます。

そこで見ていた年長のりょうすけ君が言いました。「はい!セロテープ。これで、まずつなげようよ。あーあ。くちやくちやだなあ。しょうがないなあ...」そして「えみちゃんはここ!あやちゃんはそっちに座って。真ん中にカレンダー、置いたらどう?」ふたりを座らせてからりょうすけ君が言いました。

「けんかしちゃ、だめだよ!」「だってだって、(えみちゃんが悪いんだよ)...」と言おうとすると、「この魔女かわいいね」とえみちゃんがほめてくれました。「そおっ!じゃあ、えみちゃんにも作ってあげるね」あやちゃんは、うす紫色の折り紙で魔女を折ってから「さっきは、ごめんね」とえみちゃんに言いました。

「お店やさんごっこについて」

11月9日(金)はお店やさんごっこがあります。10月よりご家庭で集めていただいた牛乳パック等を使って商品作りを行いました。今年度はクラスの枠を超えてフロアごとにお店やさんを開きます。

◎1階: 牧場(体験型牧場)...乳しぼり、花摘み、さつまいも掘り等々

◎2階: えんにち...おもちゃ(お面、剣、ステッキ)、ゲーム(金魚すくい、くじ引き)

当日は朝登園してから9時半まで、お家の方と一緒に自由にお店やさんをご覧ください。

尚商品は、『お店やさんごっこ』で使いますので、手を触れないでください。